

## 平成 29 年度第 2 回高知市地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：平成 30 年 2 月 15 日（木） 13：30～16：00

場所：高知市卸売市場 管理棟 3 階

出席：委員 12 名中、7 名が出席（代理出席 2 名含む）

議事：(1) 地域アクションプランについて

- 1) 高知市地域アクションプランの進捗状況等について
- 2) 平成 30 年度高知市地域アクションプラン（案）について

(2) 産業成長戦略について

- 1) 第 3 期産業振興計画 ver. 3 の改定のポイント（全体まとめ）について
- 2) 移住促進分野の取組状況について
- 3) 「志国高知 幕末維新博」第二幕の展開及びポスト幕末維新博について

議事 (1) (2) について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

(1) 地域アクションプランについて

(No. 1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興)

(山脇委員)

平成 25 年度からキュウリ部会を中心に県内外から研修生を受け入れている。

実績として、春野地域内でも 19 人が就農し、そのうち 8 人の方が県外から就農している。

また、環境制御技術の導入により、生産量も 50% 増となった生産者もあり、引き続き、勉強会、情報交換会など、農業改良普及所とも連携しながら取り組んでいきたい。

本年度、新たに新規就農者が 2 名。毎年の課題であるが、研修終了後、スムーズに営農を開始できるよう空きハウスや住居等の情報提供をお願いしたい。

(山脇地域産業振興監（高知市地域担当）)

春野地域の手法は、他の地域の見本になる。新規就農者に対し春野地域のような産地提案書を書けるように広めていければと考えている。産業振興本部会議等でも話をさせていただく。

(西込委員)

春野商工会においても会員数が減少しているのので、会員を増やすための取り組みを進めており、その中でトマト農家やその加工ができる事業者にも入会してもらっている。商工会においても、新たに入会していただいた事業者を支援する取組を進めていく。

(No.16 森の工場の拡大による原木の生産)

(高橋委員)

今年の木材出荷量は 10 月の台風の影響により減少している。また、鏡及び土佐山地域では大量の倒木が放置されている。県からは予算が厳しいと言われているが、何とか解決する手段を講じていただきたい。

(岡崎座長)

倒木への対応については県市で協議を行っているが、まだ予算化できていない。公共ができる部分とそうでない部分を整理しなければ、次の台風の時に2次被害が出てしまうので県市で引き続き協議を進める。

(中央東林業事務所 内村所長)

倒木被害は、高知市と物部川流域の香美市、香南市、南国市に集中している。現在、被害箇所を調査中だが、高知市では36箇所である。県下全域では176箇所程度になっているが、今後、50箇所程度は増加する見込みである。撤去費用についても調査しながら、新たな対策について検討中である。

(No.25 本家よさこいブランド力確立とよさこい文化の継承・発展)

(No.30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実)

(泉委員)

客船のツアーで高知に来た方が、次回は高知を目的に来てくれるようにしたいと思っている。

高知県は、自然もあり、美味しいものもあり、人とのふれあいも自然とできる県民性ですごく評判は良いが、他の地方都市とは違う何か1本筋の通ったところがほしい。

また、自転車やたばこのマナーも悪いので、安全で美しい街にするために、早急にアクションを起こしていただきたい。

(町田委員)

1ヶ月に1度、店舗に伺って接客英会話の講習会を行っているが、時間が限られた中で、皆さんから質問をいただくのは、国によってのマナーや食事についてなどであり、会話以外のこともサポートが必要だと感じている。

月1回のボランティアの活動では限度があることや、中国語、英語の翻訳などの相談も受けていることから、きちんとした組織をつくり、しっかりと役に立てるよう法人化を目指している。

(山脇地域産業振興監 (高知市地域本部))

商店街の方とも話をしたが、客船が高知がファーストポートかどうか、中国系か欧米系によって求めているものが違うことがこれまでの経験によりわかってきたので、今後もきめ細かく受け入れできるようにしたいと考えている。

自転車等の対応についても中心市街地の活性化の中で議論にもなるので、関係機関とも話していきたい。

## (2) 産業成長戦略について

(町田委員)

高知県にきていきなり中山間地域にというよりは高知市内で滞在し、そこにお世話してくれる方がいれば、すごく理想的だと思うので、2段階移住の進め方には共感している。

(泉委員)

県外の方から聞かれて困るのはアクセスの問題。

例えば、公共交通機関を使って牧野植物園から桂浜に行く方法を聞かれても答えられない。

最低限、市内で見てもらいた観光地のアクセスの見本みたいなものがあれば知りたい。

(山脇地域産業振興監 (高知市地域本部))

2次交通は、高知県が弱い部分。観光イベント等の際には、その問題がでてくる。

MY遊バスや電車とのセット券などの取り組みは行っているが、それらを逆に県内の方に知ってもらうための取り組みが弱かったかもしれない。今後、観光振興部とも検討していく。

(山脇委員)

県外から移住して就農を希望される方に農業関係の情報は多岐にわたって出ているが、地域の医療、福祉、教育等の情報を提供ができれば、子育て世代の方や親と一緒に移住されてきた方には参考になるという話を聞いたことがある。

また、県外からUターンし、農業を継いだ方が、父親との経営方針の違いや独立する際に家族の同意が得られないということがあるので、そういったことをテーマにしたUターン者向けの研修やセミナーがあればいいと思う。

(以上)